

LUSMO®

ドライフード専用 ペット用自動給餌器

ルスモ ペットフード・オートフィーダ L-AF110

取扱説明書 (保証書付)

このたびは、ルスモ ペットフード・オートフィーダ L-AF110をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい使い方でご愛用いただけますようお願い申し上げます。

また、本書は保証書も兼ねていますので、大切に保管してください。

LUSMO®



安全上のご注意



ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。




目次














目次










安全上のご注意

01.各部名称	各部名称 / 付属品 / 製品仕様	02
02.ご使用前に	設置場所について / 電池の入れ方 / フードトレイの取り付け方	03
03.使い方	フードタンクへ餌の入れ方 / 電源を入れる・切る方法 / 手動給餌の方法	04
04.システム設定	ディスプレイ・操作パネル各部名称 / 現時刻設定	05
	自動給餌設定	06
05.サポート	お手入れの仕方 / トラブルシューティング (故障?と思ったら...)	08
	保証・アフターサービスについて / 保証規定・保証書	09

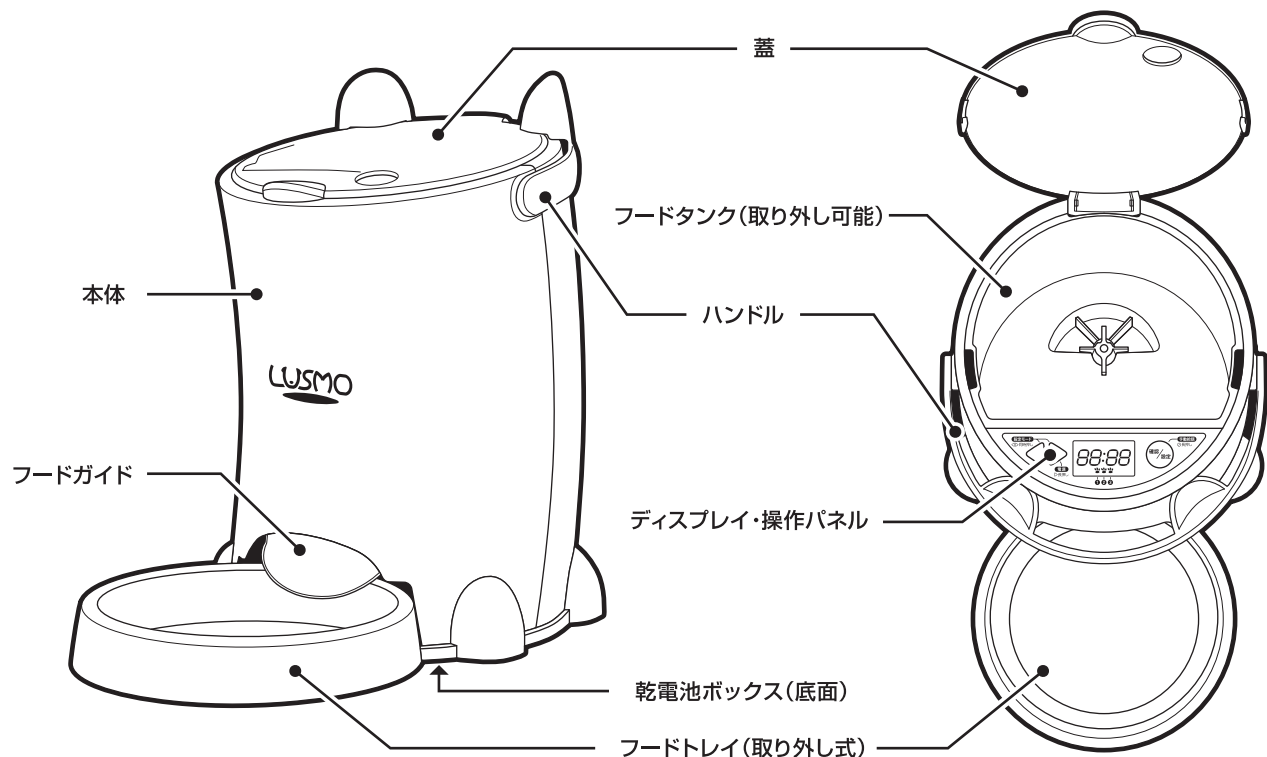
表示の例	 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	 △ 記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左の図は感電注意)が描かれています。
	 ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左の図は改造禁止)が描かれています。
	 ● 記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左の図はお願い)が描かれています。

 警告	
	動作確認をしてから使用する 本体の操作など、正常に動作することを確認してからご使用下さい。動作を確認しないで使用すると、留守中にフードが出なかったり、餌詰まりなど、おもわぬトラブルの原因になります。
	異常時は、すぐに運転を止める 異常のまま運転を続けると感電・火災の原因になります。すぐに運転を停止して、お買い上げの店舗、または、弊社までご連絡ください。
	作動中は動作部分に触れない 自動給餌中もしくは手動給餌中には、フードが排出されるフードガイドならびにフードタンクの内部には、絶対に手を入れないでください。けがの原因になります。
	お手入れ・点検の際は、電池を外す 感電・けがの原因になります。
	分解・改造は絶対しない 火災・感電・けがの原因になります。
	幼児の手の届く範囲で使用しない 感電やけが、ペットフードの誤飲などの事故につながります。
	フード吐出口やフードタンク内に指を入れない 感電・けがの原因になります。
	本体に金属など異物を差し込まない ショート・感電・火災の原因になります。
	水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電・火災の原因になります。
	所定のパーツ(フードトレイ・フードタンク)以外を水洗いしない ショート・感電・火災の原因になります。水洗いしたパーツは、十分乾燥させて、取り付けてください。
	屋外や浴室など湿気の多い場所で使用しない ショート・感電・火災の原因になります。(屋内使用専用設計)
	ペットにいたずらをさせない 本体にじゃれたり、かんだりすると、おもわぬけが・感電・火災の原因になります。本体で遊ばせないよう、十分にしつけをしてご使用ください。

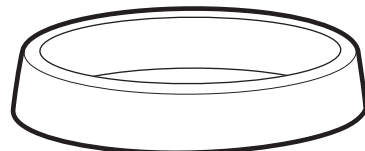
 注意	
	犬・猫の自動給餌以外の目的には使用しない 犬と猫専用で作られた自動給餌器です。他の目的には使用しないでください。
	電池残量表示に注意する 電池残量表示が点灯したら、早めに電池を新しいものと4本全て交換してください。そのままお使いになると、急に作動が停止して、留守中にフードが出ないなど、おもわぬトラブルの原因になります。
	長期間使用しない場合は、電池を外す 絶縁劣化による感電・漏電、火災・けがの原因になります。
	定期的に掃除をする 長期間連続して使用する場合は、フードトレイ・タンクを定期的に掃除してください。おもわぬトラブルの原因になります。
	お手入れをしてから保管する 長期間使用しない場合は、乾電池を外し、ペットフードを全て出し、掃除をして、十分乾燥させてから保管してください。そのまま放置すると、カビの発生・異臭などのトラブルの原因になります。
	屋外や長時間直射日光のあたる場所・暖房機の近くに置かない 直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になるところに放置すると、変形・変質をまねきます。
	不安定な場所には置かない 傾いたり、転倒し餌をこぼすなど、誤動作の原因になります。
	本体に振動を与えない 本体に振動を与えますと、フードが吐出口からこぼれ出る場合があります。ペットが振動を与えるとこぼれ出ることを覚え、繰り返し振動させますと故障の原因になりますので、止めるようにしつけをしてください。

上から見た図(蓋を開けた状態)



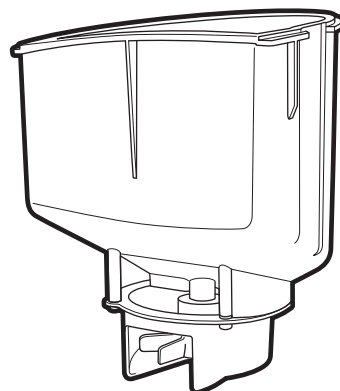
● 付属品

1. フードトレイ



2. フードタンク (内蔵済み)

※本体から取り外し、水洗いが可能です。



3. 取扱説明書 保証書付 (本書)

※乾電池は別売りです。(アルカリ単一乾電池4本)

● 製品仕様

品名	ルスモ ペットフード・オートフィーダ
型式名	L-AF110
外寸法	幅:22.5 × 奥行:36 × 高さ:34 cm
材質	本体:ABS 上蓋:PC 皿:PP
重量	1.5kg
電源	単一乾電池(アルカリ)4本
製造基準	RoHS基準に準拠
生産	企画・デザイン/日本 生産/中国
給餌設定	1分単位最大3回(24時間リピート)
給餌量	5g~80g / 回 (0g設定可)
タンク容量	2700cc(約1,000g)
時計表示	24時間表示

●製品改良のため、デザイン・仕様等予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。

⚠ 注意

マンガン電池や充電式電池、また電池アダプターの利用は、誤作動の原因となりますのでご使用できません。

● 設置場所について

本体が傾かない・ガタガタ安定しない場所。
屋外や浴室など湿気の多い場所。
長時間直射日光が当たる場所や
暖房機の近くでの使用は
故障・事故の原因になります。

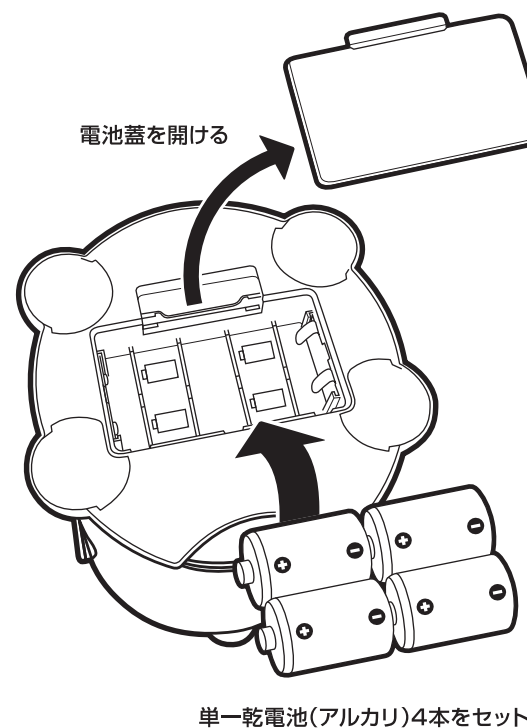


⚠ 注意

- ⊘ 長時間直射日光のあたる場所や暖房機の近くに置かない
直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になるところに放置すると、変形・変質をまねきます。
- ⊘ 不安定な場所には置かない
傾いたり、転倒し餌をこぼすなど、誤動作の原因になります。

● 電池の入れ方

本体底面の電池蓋を開け、新しい単一乾電池4本(アルカリ乾電池使用)を記載されている電池方向に従ってセットします。

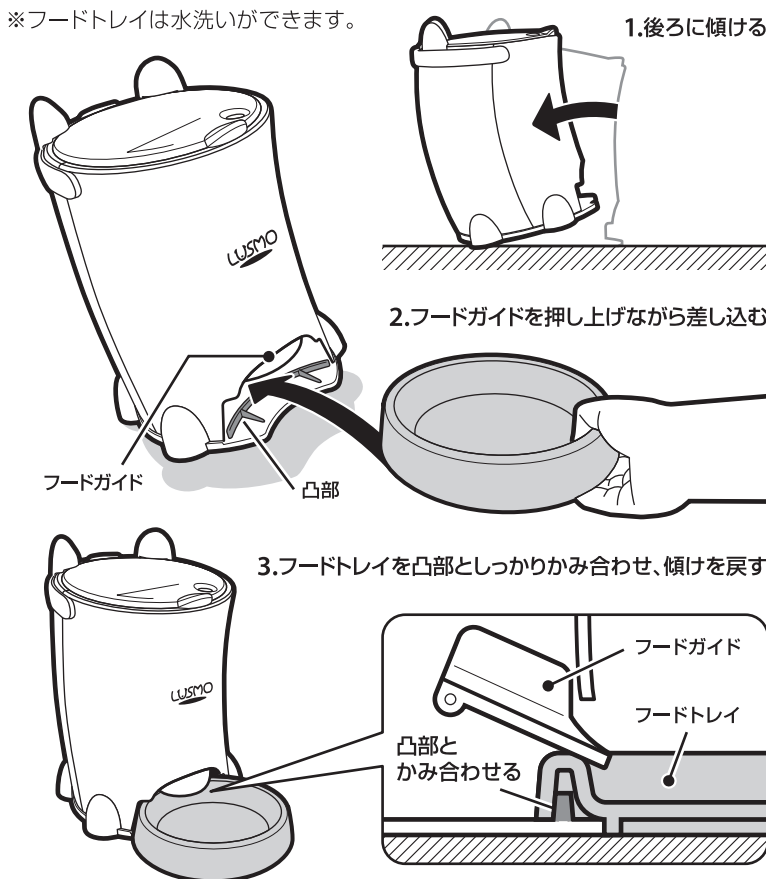


単一乾電池(アルカリ)4本をセット

● フードトレイの取り付け方

本体を少し後に傾けながらフードガイドの下に差し込み、本体側の凸とかみ合わせて取り付けます。

※フードトレイは水洗いができます。



● 電池寿命の目安

乾電池寿命は平均的なご利用方法で、目安6ヶ月間です。
寿命が近づきますと、ディスプレイの残量表示が点灯したり、[HK]表示が点灯しますので、お早めに乾電池4本すべて交換してください。

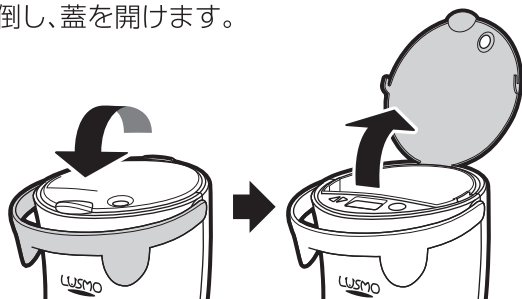
⚠ 注意

- ⚠ 電池を新しく入れ替えた際は、給餌設定は保存されますが、現在時刻はクリアされますので、再度設定してください。

※P03「02.ご使用いただく前に」を確認後、下記の操作を行ってください。

● フードタンクへ餌の入れ方

ハンドルを前に倒し、蓋を開けます。

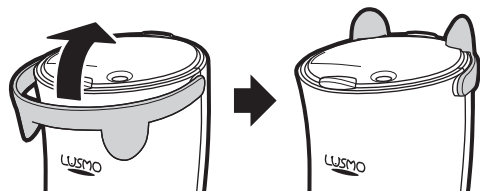


フードタンクへドライフードを入れてください。



蓋を閉じ、ハンドルを後ろへ戻します。

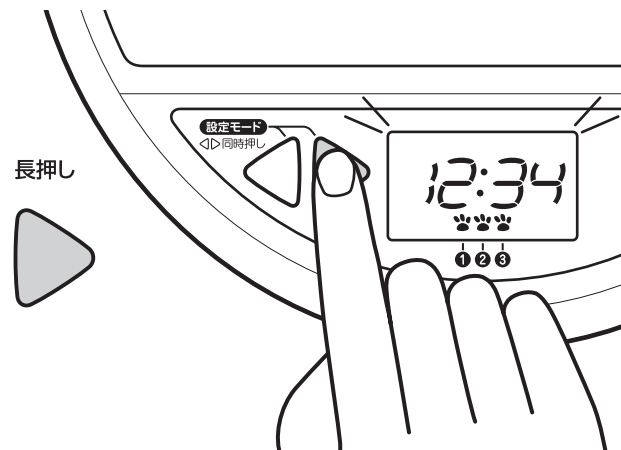
必ず後ろに戻す



● 電源を入れる・切る方法

電源ボタンを長押しします。

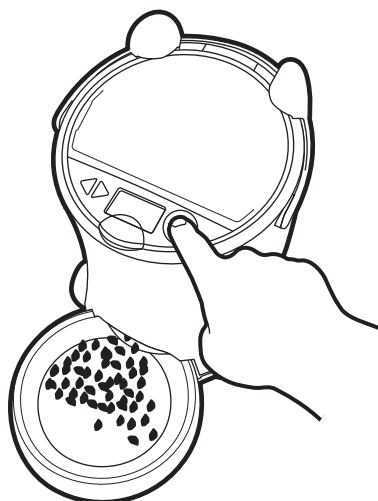
※電源を切っても、給餌設定内容、現在時刻は保存されます。念のため、設定が保存されているか、確認してからご利用ください。



● 手動給餌の方法

設定時間に関係なく給餌したい場合、確認/設定ボタンを押し続けてください。ボタンを押し続けている間、給餌されます。

ただし、約50gで自動的に停止します。



⚠ 注意

- ❌ 蓋を開ける際はハンドルを前に倒す
ハンドルを前に倒さないと蓋のロックがはずれません。無理に開けようとするとロックが破損します。
- ❌ ドライフード以外のフードを使用しない
ドライフード専用の製品です。缶詰などのウェットフードは使用できません。故障の原因になります。
- ❌ 「大粒」表示のドライフードは使用しない
「大粒」表示のドライフードや粒の一边が15mm以上のドライフードは使用できません。フード詰まりや故障の原因になります。
- ❌ 「半生・セミモイスト」表示のフードは使用しない
「半生・セミモイスト」表示のフードは使用できません。故障の原因になります。

※蓋は一定以上の力が加わると外れる設計になっていますので、もし外れた場合は本体のヒンジ部分にはめ合わせて取り付けてください。

※フードタンクには、約1000グラムの餌が入りますが、餌の形状や比重によって、多少誤差が出ます。ご了承ください。

※ハンドルは、蓋のロックを兼ねていますので、必ず後ろに戻してご利用ください。

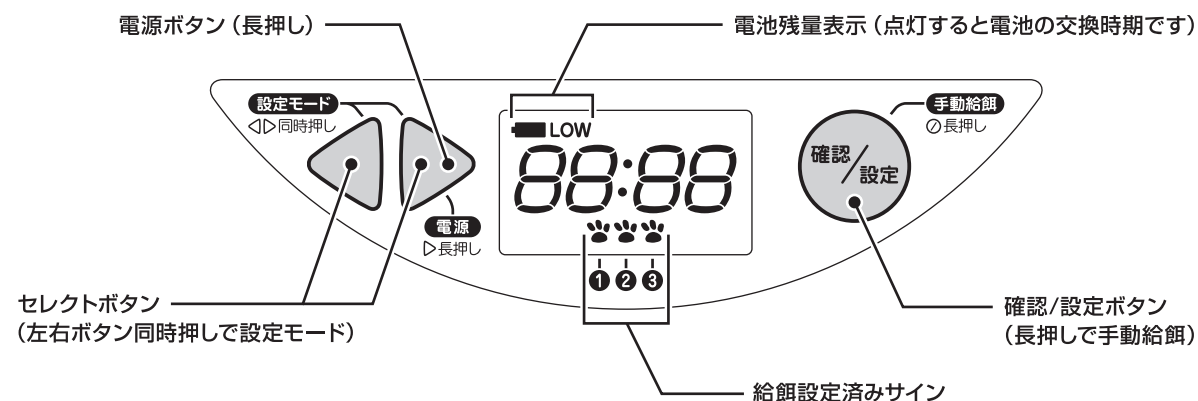
※ドライフードをフードタンクに入れる際に、ヒンジ部分の隙間からフードが本体内部にこぼれ落ちる場合があります。こぼれたフードが内部に残りますと、カビの発生や悪臭の原因となりますので、タンクを時々外してご確認ください。

⚠ 注意

設定に関するご注意

- 電池の入れ替えを行うと、給餌設定内容は保存されますが、現在時刻がリセットされますので、再度設定し直しご使用ください。
- 長期間使用しない場合は、乾電池を外し、メンテナンスをしてから、保管してください。

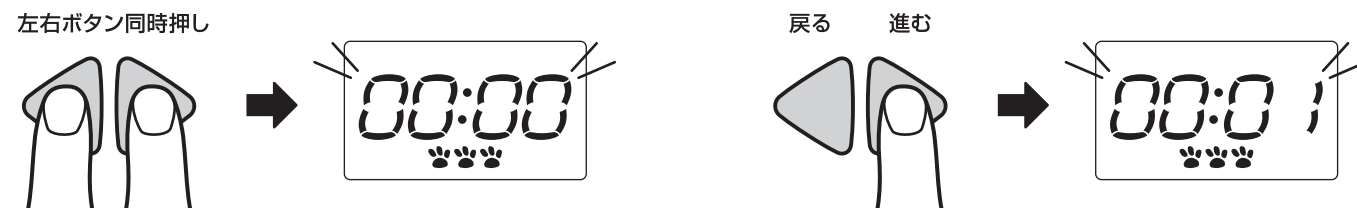
● ディスプレイ・操作パネル各部名称



● 現在時刻設定

時刻設定を行う場合・やり直す場合は、セレクトボタンを左右同時に押ししてください。表示が点滅して設定モードに変わります。

セレクトボタンの右ボタンを押すと、1分単位で時間が進み、左ボタンで戻ります。



時刻を合わせ、確認/設定ボタンを押すと設定が完了し、給餌設定画面に移ります。

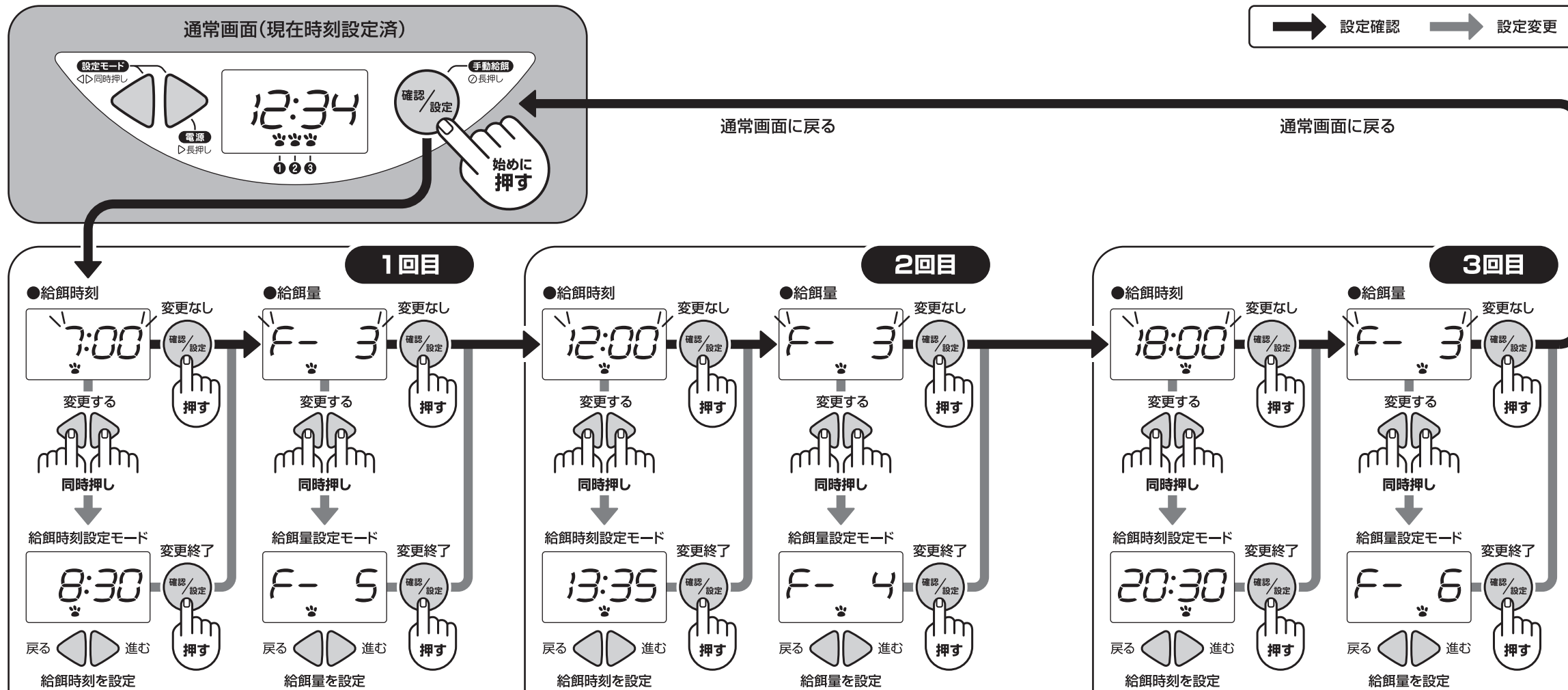
※分単位で設定、セレクトボタン長押しで加速します。
※10秒間何も操作しないと設定モードが終了します。



※P05「04.システム設定 ●現在時刻設定」を設定後、下記の操作を行ってください。

● 自動給餌設定

本機は、一日3回（朝食・昼食・夕食）設定した給餌量のフードを自動給餌することができます。一旦設定を済ませると、フードタンクにフードが入っている限り、設定に従い繰り返し自動給餌を行います。各回の給餌時刻・給餌量設定の確認、変更の仕方は、下記の通りです。



1回目給餌設定

確認/設定ボタンを押すと、1回目の給餌時刻が点滅表示されます。セレクトボタンを左右同時押しすると点灯に変わり、給餌時刻設定モードになります。セレクトボタンで給餌時刻を合わせ、確認/設定ボタンを押すと1回目の給餌量設定に移ります。

1回目の給餌量設定が点滅表示されている状態で、セレクトボタンを左右同時押しすると点灯に変わり、給餌量設定モードになります。セレクトボタンで給餌量を選択し、確認/設定ボタンを押すと完了です。（給餌量の目安については右記の表をご覧ください）

2・3回目給餌設定

2回目・3回目の設定を変更する場合は、1回目の操作と同じ手順で行ってください。全ての設定が完了すると通常画面に戻り、設定した自動給餌が始まります。

※10秒間何も操作しない状態が続くと通常画面に戻ります。
※自動給餌を行わない回がある場合は、その回の給餌量設定をF-0（給餌量0g）に設定してください。

● 給餌量の設定がなされている（F-1以上の設定）回については、給餌設定済みサインが点灯します。



- 現在時刻設定を行った状態で、工場出荷時の給餌設定（給餌時刻 1回目7:00、2回目12:00、3回目18:00/給餌量 F-3）が作動しています。
- 電源を切っても設定内容は保存されます。

⚠ 注意

- 餌の形状・大きさによって給餌量が異なります。使用するフードで、一度確認運転を行ってください。
- 粒の一边が15mm以上のドライフードは、フード詰まりの原因となりますので使用できません。
- 小粒よりもさらに小さなベビー用ドライフードは、目安給餌量が大きく異なりますので、確認運転を必ず行ってください。

● 給餌量設定、給餌量の目安

給餌量設定	給餌量(cc/g)
F - 1	約13cc (約5g)
F - 2	約25cc (約10g)
F - 3	約38cc (約15g)
F - 4	約50cc (約20g)
F - 5	約63cc (約25g)
F - 6	約75cc (約30g)
F - 7	約88cc (約35g)
F - 8	約100cc (約40g)
F - 9	約113cc (約45g)
F - 10	約125cc (約50g)
F - 11	約138cc (約55g)
F - 12	約150cc (約60g)
F - 13	約163cc (約65g)
F - 14	約175cc (約70g)
F - 15	約188cc (約75g)
F - 16	約200cc (約80g)
F - 0	給餌しません

⚠ 注意

- 給餌量と給餌間隔はペットが食べきれないように設定してください。食べ残しが多い場合は、フード詰まりを回避するため、本体内側にフードをあふれ出さず組みになっています。

● お手入れの仕方

フードタンク・フードトレイは、本体から取り外し、水洗いしていただけますが、本体には水がかからないようにしてください。

本体の汚れは、中性洗剤や水を含ませた布で落とし、乾いた布で拭き取ってください。

フードタンク・フードトレイは、食器用洗剤で洗浄できますが、水分をよく拭き取り、必ず乾燥させてから取り付けてください。

- ✕ **ベンジン**
- ✕ **アルコール**
- ✕ **シンナー**

プラスチックを痛めますので使用しないでください。

警告


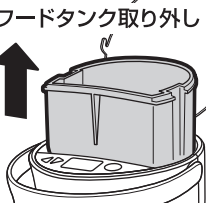

❗ **お手入れ・点検の際は、電池を外す**
感電・けがの原因になります。

注意

🚫 **食器洗浄機・食器乾燥機を使用しない**
本体、各パーツ(フードトレイ・フードタンク)は食器洗浄機・食器乾燥機のご利用できません。ショート・感電・故障、変形・変色の原因になります。

● **トラブルシューティング 故障?と思ったら・・・**

下記の対処法で解決しない場合は、使用を中止して、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

現象	対処法
チェックマーク点灯。 	<ul style="list-style-type: none"> ● フードが詰まっている可能性がありますので、フードタンクを取り外し、詰まったフードを取り除いてから、再度セットし直してください。「確認/設定」ボタンを押すと通常画面に戻ります。 ● 単一乾電池の残量不足の可能性がありますので、4本すべて、新しい未使用のアルカリ乾電池と交換してください。その際、30分ほど時間を空けて、単一乾電池を入れてください。 
液晶が表示されない。(電源が入らない) 電池残量低下表示点灯。 	単一乾電池の残量不足の可能性がありますので、4本すべて、新しい未使用のアルカリ乾電池と交換してください。その際、30分ほど時間を空けて、単一乾電池を入れてください。
単一乾電池を交換したら、液晶が表示されなくなった。(電源が入らない)	一度単一乾電池を取り外し、30分ほど時間を空けて、単一乾電池を入れてください。
時計が「00:00」になってしまう。	乾電池ボックス部のマイナス側の金具が平らになりすぎて、単一乾電池を保持できなくなっている可能性があります。金具を一度、指で90度くらいまで起こしてから、単一乾電池を入れてください。
設定時刻になってもフードが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定時刻と給餌量を確認してください。 ● フードが詰まっている可能性がありますので、フードタンクを取り外し、詰まったフードを取り除いてから、再度フードタンクをセットし直してください。
カタカタという異音が出て、フードが出ない。	フードが詰まっている可能性がありますので、フードタンクを取り外し、詰まったフードを取り除いてから、再度フードタンクをセットしてください。
設定した量のフードが出ない。	単一乾電池の残量不足の可能性がありますので、4本すべて、新しい未使用のアルカリ乾電池と交換してください。その際、30分ほど時間を空けて、単一乾電池を入れてください。

● **保証・アフターサービスについて**

- この商品には、保証書がついています。お買い上げの販売店で所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証期間中に、万が一故障したときは、ルスモカスタマーサポートに修理をお申し付けください。無償にて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理につきましても、ルスモカスタマーサポートにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 生産終了後の保守ならびに修理用部品の保有期間は3年間です。
- 保証・アフターサービスについてご不明な場合、弊社にお問い合わせください。